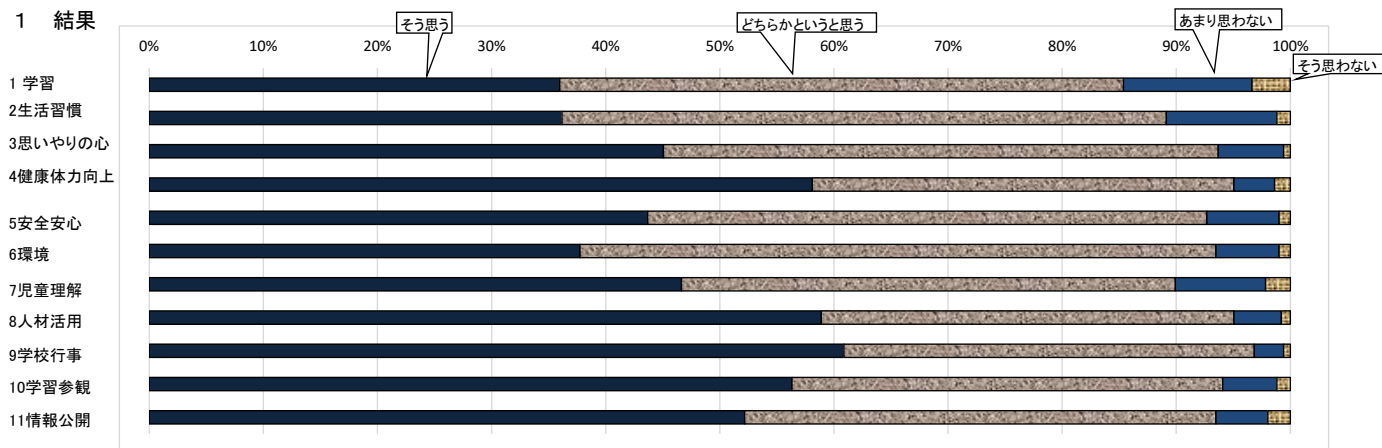


令和5年度 学校評価アンケートの結果と考察

千葉市立都小学校

令和6年1月に実施いたしました学校評価アンケートの結果と考察がまとまりましたのでお知らせいたします。この結果を参考に、今後の教育活動に生かしてまいります。アンケートにご協力いただきました、保護者の皆様、ありがとうございました。

1 結果



※ アンケート内容は、裏面を参照ください。

2 考察

- 新型コロナウイルス感染症が5月初旬に5類移行後、教育環境が戻り、音読やドリル及びミニテストの実施など統一した取組で学力向上が図れるように取り組めた。2月に実施予定の学力テストの結果などから取組の成果と課題を把握し、来年度の取組に生かしていきたい。また、専科授業や交換授業等の充実及び継続により、基礎的基本的な知識・技能を定着させたい。
- コロナ禍が続いたことで、感染予防について定着した。引き続き感染防止に努めながら学校生活を充実させていく。一方で生活習慣に課題を抱えている子も見られるので、今後、家庭と協力しながら、引き続き支援していきたい。あいさつについても意識を高めていきたい。
- 思いやりや感謝の気持ちを育てるために道徳・学級活動での指導を図った。地域の皆様や保護者への感謝の気持ちやお互いを思いやる気持ちを持てるよう引き続き指導していく。また、学校の諸活動を通じて、学年に応じた行動や振る舞いができるようにするとともに、交流を深める場を模索し、優しさや感謝の気持ちを引き続き育てていきたい。
- 5月初旬より新型コロナウイルス感染症が5類移行となり、運動会練習及び体育学習の充実に努めた。また、部活動の在り方についても過渡期を迎え、午後の実施にシフトしつつ体力の向上に努めた。前年度の千葉市平均と比較すると、全体的に体力・運動能力が落ちているので、今後も重点的に取り組めるように活動を模索していきたい。また、保健指導や保健学習等を学校医を招き計画的に実施した。引き続き適切な時期に保護者にお知らせをするなど、家庭と連携した取組を進める必要がある。
- 市教委及び警察などの外部機関や地域・保護者の方と連携をしっかりと取っていくことで、学区の安全性を高めていきたい。また、さまざまな事態を想定し、実態に応じた実効性のある訓練を適切にできるよう検討していきたい。
- PTA・後援会・おやじの会などのご協力をいただき、今年も側溝掃除や水たまり対策等の環境整備ができた。今後も校舎内外の安全点検を確実にを行い、子どもたちが安心して学べる環境を整えたい。また、子どもたちにも自主的な清掃活動やボランティア活動等を通して自校に対する愛着心を育てていきたい。
- 子どもたちが楽しく学校生活を送ることができるように、今後もより一層、児童理解に努めたい。また、学級や学年で好ましい人間関係づくりができるように寄り添っていきたい。指導が必要な場面では、一斉指導・グループ指導・個別指導等、指導形態を工夫し、複数の教職員で対応するなど児童の心に響く指導を心がけていきたい。また、外部機関とも連携していく。
- 「米作り体験」・「昔の暮らし体験」・「昔のあそび体験」や「サマーイベント」・「いちようまつり」・「たこあげ」等、代々継続して地域の皆様にご協力をいただいている活動は、本校の特色ある活動となっている。そこで、今後も持続可能な方向性を模索しながら、より諸活動が充実できるように人材を確保していきたい。
- 学校行事の今後の在り方を検討し、新しく形式を変えて持続可能な行事として実施した。本校では保護者や地域の方の協力により充実したものとなっている行事も多い。今後も、それぞれの行事の目的や意図をご理解いただき、持続可能な行事の可能性を検討しつつ、必要に応じて地域の皆様と連携を図っていきたい。
- 学習参観や懇談会等の実施が制限なく開催できた。今後も参観時期や方法については検討していきたい。役員の皆様や保護者の皆様と連携し、より多くの皆様に子どもたちの活動を参観していただけるよう準備していきたい。
- 学校の教育活動の様子や意図を保護者や地域の方に理解していただく大切なことなので、より伝わるよう便りの内容や「すぐる」・HP等にて発信していきたい。また、自然災害や感染症予防対策等に対処すべく『すぐる（連絡メール）』加入100%に向けてご協力をお願いしていきたい。